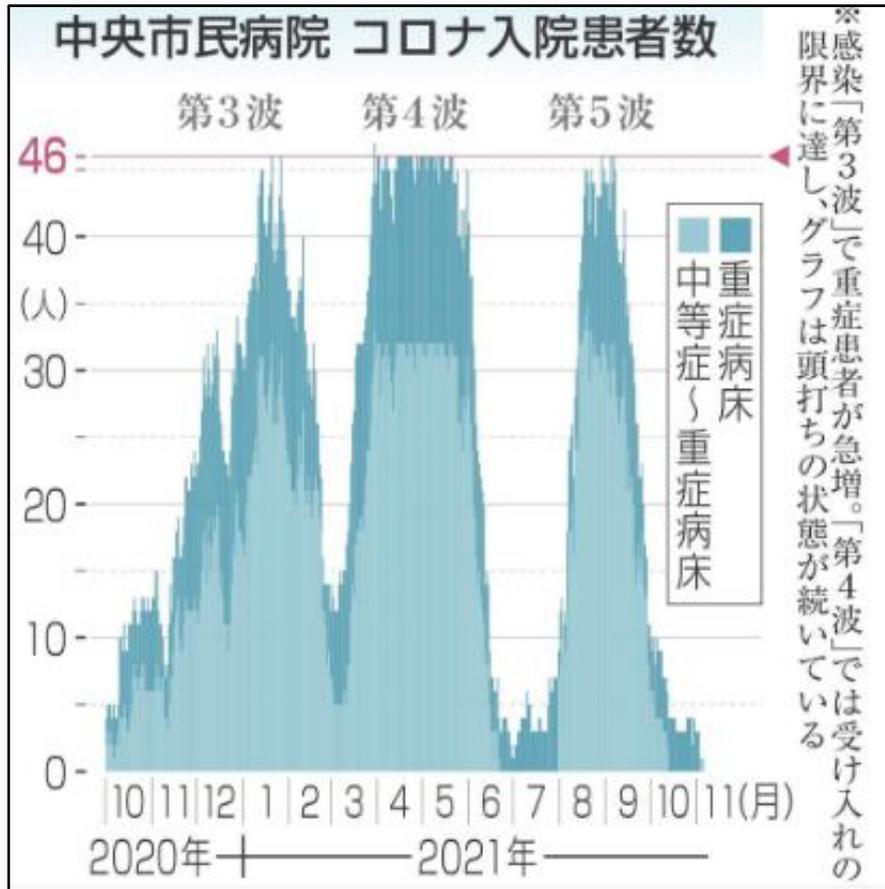


「人間対コロナ」感染症との苦闘描く 神戸中央市民病院のドラマを出版 神戸新聞論説委員室

11/15 神戸新聞



新型コロナウイルス感染症の重症患者を受け入れた基幹病院の苦闘を描いた本「人間対コロナ 神戸市立医療センター中央市民病院の3年」が、神戸新聞総合出版センターから刊行された。神戸新聞社論説委員室の編著。取材、執筆は医療担当の論説委員が担当し、医師、看護師から事務職員まで計40人以上にインタビューした。内容の一部は5月に神戸新聞紙上で連載したが、本書は病院内の人間ドラマやコロナ禍の実相をより生々しく描出している。

中央市民病院では新型コロナウイルスの流行初期に大規模な院内感染が発生。日本一と評価される救命救急センターなどほぼ全ての機能を停止しながら、新型コロナ重症患者の診療は続けた。

本書は第1～2波▽3～5波▽6波以降—と感染の波ごとに章立て。リスクを顧みず新型コロナ患者に寄り添った流行初期の対応や、病床が逼迫し重症患者すら断らざるを得なかった苦悩などを詳述している。

神戸中央市民病院の主なコロナ対応	
2020年	国内初のコロナ患者を確認
1月16日	
3月3日	コロナ患者の受け入れ開始
4月7日	兵庫など7都道府県に初の緊急事態宣言(兵庫は5月21日まで)重症患者に対応する「コロナ重症等特定病院」に指定
4月9日	院内感染が発覚、最終的に入院患者7人、職員29人が感染
4月11日	コロナ以外の救急、新規入院・外来患者の受け入れを原則中止
4月18日	手術を原則中止
5月11日	救急や入院・外来・手術を再開
11月9日	コロナ患者の臨時病棟運用開始
2021年	コロナの入院患者は46人までしか受け入れないと宣言
1月13日	
1月14日	兵庫県に2回目の緊急事態宣言(2月28日まで)入院や手術の制限を開始(約2割)
3月5日	院内職員に対するワクチン接種開始
4月23日	神戸市内の入院待機患者への往診開始
4月25日	兵庫県に3回目の緊急事態宣言(6月20日まで)
4月26日	救急の受け入れはかかりつけ患者の病状悪化のみに制限
4～5月	コロナ病床の満床が続く
8月20日	兵庫県に4回目の緊急事態宣言(9月30日まで)
8月27日	重症化予防のため「抗体カクテル療法センター」を設置
2022年	
1月20日	オミクロン株の流行を受け、発熱外来をスタート
9月26日	感染者の「全数把握」を全国一律で簡略化
2023年	
5月8日	コロナの位置付けを「5類」に移行

※青字は全国の動き



# 人間対コロナ

神戸市立医療センター  
中央市民病院の3年

神戸新聞社  
論説委員室 ● 編

## 最前線で闘う 現場の苦悩と挑戦。

新型コロナウイルス感染症は「断らない救急」を掲げる病院の根幹をゆるがした。院内感染、機能停止、患者と家族、増加する感染者数……  
未曾有のウイルスとの闘いに迫る。

